

プログラム 2月17日(土) 第1日目

第一会場

里見賞選考セッション

9:30~11:10

座長：河津 由紀子(福山市民病院 小児科)

山本 祐華(順天堂大学 産婦人科)

- SA-1 :先天性心疾患の出生前診断における妊娠初期超音波検査の有用性と課題
柱本 真(昭和大学医学部 産婦人科学講座)
- SA-2 :心房distensibilityによる胎児単心室型心疾患の房室弁逆流の重症度評価と予後予測
赤澤 陽平(長野県立こども病院 循環器小児科)
- SA-3 :胎児心臓Global Longitudinal Strainの計測においてFrame Rateはどれくらい必要か?
百木 恒太(埼玉県立小児医療センター)
- SA-4 :母体高血糖による細胞内pH低下が食餌依存性の胎児左右軸異常を誘導する
松岡 良平(九州大学病院 小児科)
- SA-5 :総肺静脈還流異常症スクリーニング支援AI技術の開発
青山 利奈(国立がん研究センター研究所 医療AI研究開発分野)
- SA-6 :胎児結節性硬化症に伴う心臓横紋筋腫により左室流出路狭窄をきたした胎児に
mTOR阻害薬を経母体投与して救命し得た1例
川井 有里(藤田医科大学医学部 小児科学)
- SA-7 :胎児期より完全房室ブロックと重度房室弁逆流を呈し出生直後のペースメーカー植込により
救命し得た左側相同・単心室の一例
今西 梨菜(あいち小児保健医療総合センター 新生児科)
- SA-8 :未経験症例に対するチーム医療の重要性—巨大血管腫により高拍出性心不全を来した1症例—
島袋 篤哉(沖縄県立南部医療センター・こども医療センター)
- SA-9 :地方の中核病院で確立した胎児超音波スクリーニングシステム
~院内多職種と他施設と連携しながら築く未来~
片山 沙予子(福山市民病院 臨床検査科)

シンポジウム1 家族支援の「今」

11:15~12:15

「胎児心臓診断の説明とカウンセリング：倫理的な配慮を医療者はどう学ぶと良いか？」

座長：松岡 隆(昭和大学医学部 産婦人科学講座)

笹川 みちる(国立京都医療センター 看護部)

- SY1-1 :胎児診断に関わる医師として自らを振り返る
金 基成(国立成育医療研究センター 循環器科)
- SY1-2 :意思決定支援における看護職としての倫理的配慮
権守 礼美(認定NPO法人シャイン・オン・キッズ)
- SY1-3 :胎児心臓診断と倫理的課題
横野 恵(早稲田大学 社会科学部)

一般社団法人日本胎児心臓病学会 事業報告会

13:25~14:05

進行: 吉松 淳(一般社団法人日本胎児心臓病学会 理事長)

JSE・JSFCジョイントセッション

14:10~15:10

「ストレインの今」

座長: 川合 宏哉(兵庫県立はりま姫路総合医療センター)

武井 黄太(長野県立こども病院 循環器小児科)

- JS-1 : 成人心疾患診療におけるストレインの立ち位置
望月 泰秀(昭和大学医学部 内科学講座 循環器内科学部門)
- JS-2 : 小児循環器領域でストレインをどう使う?
高橋 健(順天堂大学医学部附属浦安病院 小児科)
- JS-3 : 胎児における2D speckle trackingを用いたストレイン評価
山本 祐華(順天堂大学 産婦人科)
- JS-4 : 心室longitudinal strain計測による胎児心機能評価
赤澤 陽平(長野県立こども病院 循環器小児科)

シンポジウム2 日本の胎児心臓の「今」

15:15~17:05

「胎児心臓の連携は地域ごとでどうなっているのか?現状と課題を共有しよう」

座長: 吉松 淳(国立循環器病研究センター 産婦人科)

石井 陽一郎(大阪母子医療センター)

海外招請講演1

IL-1

Clinical and Research Collaboration in the U.S. and the Role of the Fetal Heart Society

Mary Donofrio, MD

(Medical Director of the Fetal Heart Program, Children's National Hospital)

(Fetal Heart Society, Founding President)

- SY2-1 : 北海道における胎児心臓連携の現状と課題
佐々木 理(天使病院 小児科)
- SY2-2 : 東北6県の胎児心エコー検査の現状
木村 正人(宮城県立こども病院 循環器科)
- SY2-3 : 関東地方における先天性心疾患胎児診断の現状と課題 —高次施設アンケート結果から—
金 基成(国立成育医療研究センター 循環器科)
- SY2-4 : 甲信越地域の胎児心臓診療の現状と課題
赤澤 陽平(長野県立こども病院循環器小児科)
- SY2-5 : 東海地方における胎児心臓診断の現状と課題
新谷 光央(静岡県立こども病院 周産期母子医療センター・産科)
- SY2-6 : 北陸三県における胎児心臓病診療の現状と課題
小澤 綾佳(富山大学小児科)

プログラム 2月17日(土) 第1日目 第一会場

- SY2-7 :先天性心疾患の胎児診断率向上を目指して—関西地方の現状と課題—
川崎 有希(大阪市立総合医療センター)
- SY2-8 :胎児心疾患診療における中国地方の現状、連携、課題について
近藤 麻衣子(岡山大学病院 小児科)
- SY2-9 :胎児心臓診療の連携:四国
加地 剛(徳島大学病院 産科婦人科)
- SY2-10:九州山口胎児心臓研究会の取り組み
永田 弾(九州大学病院 小児科)

特別講演

17:05~17:20

座長:稲村 昇(近畿大学医学部 小児科)

- SL-1 :胎児心臓病学の原点
里見 元義(さとみクリニック)

第二会場

一般演題1

11:10~12:05

「スクリーニング体制と現状」

座長：山内 一浩(市立豊中病院 臨床検査部)
岡崎 三枝子(秋田大学医学部 小児科)

- O1-1 : 胎児心エコー・重点スクリーニングの有効性
園田 則子(戸田中央産院)
- O1-2 : 見落としをなくし精度を保つ胎児超音波スクリーニング検査体制
～今、超音波検査のスペシャリストが何をすべきか～
浜本 莉沙子(福山市民病院 臨床検査科)
- O1-3 : 胎児心エコーにおける大動脈縮窄症、大動脈離断症の肺動脈大動脈比の検討
大崎 薫(土谷総合病院)
- O1-4 : 手術を要した単独VSDの胎児診断および出生後診断についての検討
吉田 あつ子(徳島大学病院 産科婦人科)
- O1-5 : 胎児無名静脈異常についての検討
白河 綾(徳島大学産婦人科)
- O1-6 : STICを活用した胎児心臓スクリーニングオンラインセミナーの教育効果に関する検討
～追跡調査より～
曾我 江里(東京都立多摩総合医療センター 産婦人科)

ランチョンセミナー1

12:25~13:25

座長：松岡 隆(昭和大学医学部 産婦人科学講座)
共催：GEヘルスケア・ジャパン株式会社

- LS-1 : 「診断に足る超音波画像」「美しい超音波画像」を得るために
～疑念を持たれない画像はどうしたら得ることができるでしょうか～
新谷 光央(静岡県立こども病院 周産期母子医療センター・産科)

一般演題3

14:05~15:05

「胎児心臓トピック」

座長：小野 博(国立成育医療研究センター 循環器科)
尾本 暁子(千葉大学病院 周産期母性科)

- O3-1 : 重症大動脈弁狭窄症に対する胎児大動脈弁形成術の臨床試験の進捗と胎児経過
小澤 克典(国立成育医療研究センター 胎児診療科)
- O3-2 : 胎児大動脈弁形成施行症例の出生後経過
金 基成(国立成育医療研究センター 循環器科)
- O3-3 : 胎児頻脈性不整脈に対する多臓器共同臨床試験：出生後の予後報告
三好 剛一(国立成育医療研究センター 日本胎児不整脈班)

- O3-4 :circular shuntを伴う胎児Ebstein病に対する胎児治療
漢 伸彦(福岡市立こども病院 胎児循環器科)
- O3-5 :胎児心エコー検査保険収載前後における先天性心疾患患者の乳児死亡数の推移
石井 卓(東京医科歯科大学 小児科)
- O3-6 :胎児心筋症を契機に母体心機能障害を来した3症例
川口 晴菜(大阪母子医療センター 産科)

一般演題5 会長指定演題

15:10~15:50

「困った症例2」

座長:高橋 実穂(筑波大学附属病院 総合診療科)

- O5-1 :胎児診断に至らず足元をすくわれた気管無形成を合併した先天性心疾患の2例
北代 祐三(福岡市立こども病院 産科・胎児循環器科)
- O5-2 :心臓脱を伴ったBody-Stalk Anomalyの一例
大平 安希子(岡山大学病院 産婦人科)
- O5-3 :出生後にフルトリソミーと診断された, 新型出生前診断(NIPT) 偽陰性18トリソミーのVSD症例
片岡 功一(広島市立広島市民病院 小児科)
- O5-4 :当センターにおける13トリソミー・18トリソミー診療の現状
前田 昂大(北海道立子ども総合医療・療育センター 小児循環器内科)

第三会場

一般演題2

11:10~12:15

「症例(肺静脈・全身)」

座長: 鳥越 司(新潟大学医学部 小児科)

横山 岳彦(葵鐘会 小児科)

- O2-1 : 2本に分岐する垂直静脈を出生前に同定できた総肺静脈還流異常症の1例
前田 崇彰(四国こどもとおとなの医療センター)
- O2-2 : 胎児期にsevere PVOと診断した総肺静脈還流異常症の症例から真の重症度
および娩出時期について考える
吉井 公浩(中京病院 中京こどもハートセンター 小児循環器科)
- O2-3 : 胎児期に総肺静脈還流異常を疑ったが正常であった1例
天方 秀輔(日本赤十字社医療センター 新生児科)
- O2-4 : 胎児エコーで重度肺静脈狭窄が疑われたが生直後の外科治療で救命し得た
総肺静脈還流異常混合型の1例
高島 悟(国立循環器病研究センター 小児循環器内科)
- O2-5 : 胎児期にScimitar症候群を指摘された2例
林田 由伽(大阪母子医療センター 小児循環器科)
- O2-6 : 高心拍出を呈した肝内型門脈一体循環シャント、静脈管欠損の1例
胎児期血行動態の経時的変化・出生後経過もふまえて
富野 広通(国立病院機構佐賀病院 小児科)
- O2-7 : 超早産・超低出生体重児で出生し、無酸素発作の管理に難渋したファロー四徴症の胎児診断例
横山 雅浩(市立ひらかた病院 小児科)

一般演題4 会長指定演題

14:05~14:50

「困った症例1」

座長: 上妻 友隆(国立病院機構佐賀病院 産婦人科)

齋木 宏文(岩手医科大学 小児科学講座 小児循環器病部門)

- O4-1 : critical ASと診断、予後不良と予測されながら満期を迎え、PTAVが無効だった1例
~診断・治療方針を振り返る~
林 立申(茨城県立こども病院 小児循環器科)
- O4-2 : 胎児期の高度貧血合併により妊娠末期に重篤な心不全を呈したEbstein病の1例
岡 健介(自治医科大学附属病院 小児科)
- O4-3 : 周産期管理方針に苦慮した主要体肺側副血管、総肺静脈還流異常III型、
肺静脈狭窄合併の右側相同の一例
小野 ひとみ(岐阜県総合医療センター 産科・胎児診療科)
- O4-4 : 胎児心エコーで確定診断ができなかった、肺静脈低形成を呈する総肺静脈還流異常症の一例
浅見 雄司(群馬県立小児医療センター 循環器科)

- O4-5 :大動脈弓と第一分枝の角度(RF angle)が急峻であった、不完全型重複大動脈弓の一例
森 雅啓(大阪母子医療センター)

一般演題 6

14:55~15:50

「症例(スクリーニング)」

座長:月原 悟(総合病院山口赤十字病院 産婦人科)

石戸 博隆(埼玉医科大学総合医療センター 小児科小児循環器部門)

- O6-1 :内臓心房正位で合併奇形を伴わない左上大静脈遺残、右上大静脈欠損の一例
門岡 みずほ(亀田総合病院 産婦人科)
- O6-2 :右上大静脈欠損を伴う左上大静脈遺残(isolated PLSVC)の1例
吉井 公浩(中京病院 中京こどもハートセンター 小児循環器科)
- O6-3 :妊娠17週で胎児冠動脈瘻を疑った1例
岡山 潤(千葉大学病院 周産期母性科)
- O6-4 :肺静脈のバルスドプラ波形が発見の契機となった孤立性TAPVR III型の一例
石井 久美子(千葉大学医学部附属病院 周産期母性科)
- O6-5 :出生前診断した左大動脈弓と右動脈管弓で形成された稀な血管輪の一例
松澤 奈々(順天堂大学 産婦人科)
- O6-6 :胎児診断が周産期以降の管理にも有益と考えられた左鎖骨下動脈孤立症の2例
橋本 崇史(鹿児島市立病院 産婦人科)

第二・三会場

【Meet Up & Free Meal】

17:30~18:30

学会顕彰表彰・2025年学術集会進捗報告

無料の軽食懇親会です！若い皆さん、是非！



参加費無料

Meet Up
&
Free Meal

— 軽食コミュニケーションタイム —

2月17日(土)
17:30~18:30

第二会場・第三会場
どなたでもお気軽に
ご参加ください！